



去る8月14日、裏千家前家元千玄室
大宗匠が亡くなられた。102歳とい
う長寿を、まさに最期まで真に全うさ
れた方だ。今年の4月で102歳にな
られたが、ちょうどその

4月に熊本で見事な講演
を拝聴する機会を得た。

講演終了後急いで舞台裏
に行くと早くも送迎の車
に乗り込もうとしている
時だった。見送りの方を

千玄室大宗匠
とご縁



草野 義輔

ことがある。2回とも予告なしの来訪
なのでこちらが慌ててご案内する、と
いう始末であった。ご案内中「古いも
のを維持するのはいろんな苦勞とお金
の心配が絶えませんね」とか「ここは
重要文化財でよいのでは」というお話
をいただいた。これらの言葉はその後

の重要文化財申請の際、
大きな心の支えとなっ
た。

押しつけ、名刺を差し出

し「おかげさまで（国指定の）重要文
化財になりました」と言う私のこと
を記憶していただいていたようで「そ
れは良かった。また伺いましょう」と
のお言葉だった。

実は千玄室大宗匠はこれまで2回ほ
どわが家である草野家住宅に来られた

られている。茶道のことを何一つ知ら
ない私にも丁寧に接していただいたこ
とには感謝しかない。「もう一度伺い
ましょう」が実現できなくなったこと
は極めて残念だが今はひたすらご冥福
をお祈りするばかりだ。

（昭和学園高校理事長・日田市）